

平成27年度青森県公社等経営評価書

(平成26年度決算ベース)

法人名等				法人の自己評価(経営評価指標)	
10	八戸臨海鉄道(株)				
所管課名	企画政策部交通政策課				
決算状況 (単位:千円、%)					
出資	資本金	県出資額	県出資比率		
	570,000	165,000	28.9		
決算	前期純利益	当期純利益	利益剰余金		
	11,555	29,397	381,095		
資産	資産	負債	純資産		
	1,517,002	565,907	951,095		
財務分析指標				上記についての所管課の意見・評価	
自己資本比率	総資産 経常利益率	県財政関与率	総資産回転率	売上高 経常利益率	◎
62.70	2.27	0.00	33.93	6.69	【目的適合性】 地域の産業振興に大きな役割を果たしており、引き続き適切な業務実施に努める必要がある。
販売管理費 比率	人件費比率	流動比率	借入金比率		
21.14	43.42	251.04	2.47		
経営評価結果				【計画性】	
評価区分	A:概ね良好			◎	
<p><財務状況> 財務の状況については、毎期、ほぼ安定して黒字を確保し、順調にその幅を拡大していることは評価できる。</p> <p><経営状況> 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、各評価項目について、おおむね妥当なものと認められる。</p> <p><留意事項> 当法人の売上高において、貨物運輸収入は、主要顧客である三菱製紙(株)八戸工場の操業に左右される状況にあるため、長期的な操業の見通しについて可能な限り把握していく必要があると考える。</p> <p>また、兼業収入として、八戸市及び青い森鉄道(株)からの業務を受託し、鉄道事業以外での収入確保に取り組んで点は評価できるものの、当該受託業務についても、委託側の事情により大きく影響を受けるものであることから、これらの動向を注視しつつ、持続可能な経営基盤の確立に向け、今後の事業の再構築を含め経営のあり方について検討していくことを望みたい。</p>				<p>【組織運営の健全性】 昨年度、経理規則の改正を行うなど内部統制の改善が見られるが、引き続き、拡充していけるよう着実に取り組む必要がある。また、今後は人材育成にもより一層取り組む必要がある。</p> <p>○</p> <p>【経営の効率性】 人件費比率も改善し、利益も確保している。今後も引き続き、収益の確保、経費節減に適切に取り組む必要がある。</p> <p>○</p> <p>【財務状況の健全性】 財務状況は問題なく健全である。これまでも最終利益(当期純利益)ベースでは毎年黒字であったが、本業での収益拡大、費用削減を徹底し、営業利益ベースでも毎年黒字となるよう取り組む必要がある。</p> <p>○</p>	